

■撮影・映像に関するガイドライン (ver. 1. 1)

1) 映像データの納品仕様

- ・作品数
1 高校 1 作品のみ
- ・推奨画質
HD (1280×720 ドット～1920×1080 ドット) 以上
- ・メディア形式
DVD、Blu-ray

※もし上記のメディアの用意が難しい場合は、以下のファイル形式のデータをご提供ください。

mp4 もしくは mov

・映像データのチェック

画面に揺れがないか、ぼけていないか、白く飛んでいないか、映像が乱れていないかの最終チェックを行ったうえで、ご提供ください。

2) 撮影について

★有料の撮影サポートサービスの活用

皆さんの舞台作品の魅力を映像でしっかりと伝えるためには、舞台撮影の経験があるカメラマンが専用カメラを利用して撮影した映像を準備いただくことをオススメします。そのため、今回は撮影可能な地域※が制限されますが、有料で撮影スタッフを派遣するサポートサービスをご用意しました。

※対応地域 (プランによって要相談)

- ・大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県
- ・東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県
- ・福岡県

■撮影サポートサービス

<https://kan-geki.com/lp/filming/>

★自分たちでビデオカメラを用意して撮影する方法

もちろん、自分たちでビデオカメラを用意し撮影した映像データをご提供いただいても大丈夫です。

※公演を撮影する際は、お客さまがカメラに映り込むなどなるべく干渉しないように、カメラの設置場所にじゅうぶん注意してください。

★上記のいずれにおいても対応が難しい場合の撮影方法

スマートフォンを使って簡単に撮影できる基本的な方法やコツをご紹介しますのでご参考ください。

※一定程度の映像品質を確保できますが、作品の魅力を最大限に伝える品質には至らない可能性がある点をご了承ください。

・ポイント1

『なるべく高機能なスマートフォンを使用する』

動画撮影時に、高画質なHD（1280×720 ドット～1920×1080 ドット）以上で撮影ができるスマートフォンをご使用ください。

また、HD 動画は、おおよそ10分につき1G程度の記録領域が必要になります。

記録領域の空き容量は十分に確保して下さい。可能な場合はSDカードに記録して下さい。

・ポイント2

『必ず三脚を使用する』

スマートフォンの取り付けができる三脚を必ず使用してください。

三脚を使用せずに手で持ちながら撮影すると映像だけでなく音声にもノイズが入り、大変見づらい映像作品になってしまいます。

※公演を撮影する際は、お客さまがカメラに映り込むなどなるべく干渉しないように、カメラの設置場所にじゅうぶん注意してください。

・ポイント3

『必ず横画面で撮影する』

スマートフォンを横に寝かして三脚にカメラを取り付けて「横撮り」で撮影してください。

※縦置きに設置すると縦長の画面になりますのでご注意ください。

・ポイント4

『解像度を設定する』

設定ができる機種では高画質なHD（1280×720 ドット～1920×1080 ドット）以上で撮影してください。

通常は特に設定しない限りはHDで撮影されます。

※撮影前に設定に問題がないか確認してください。

・ポイント5

『ズームは出来るだけ引き側で固定』

カメラのレンズはズームアップすればするほどピントがぼけやすくなります。

可能な限り、引いた状態で撮影してください。

舞台全体がちょうど収まるより少しだけ引き目のサイズにすると見やすいサイズになりやすいです。

ズームしたりカメラの向きを変えたりしないで『固定したまま』で全体が収まるサイズで撮影してください。

※録画ボタンを押したら激しいズームやアングル変更は絶対にしないようにしてください。

・ポイント6

『最初にピントと露出は固定する』

画面の長押しでAF・AEの固定ができます。

録画開始前に必ず舞台の中央を長押ししてピントを固定しておきましょう。

暗転中に画面を長押しするとピントがぼけてしまうので注意してください。

・ポイント7

『必ずオペレーターをつける』

最初にAF・AEを固定して録画ボタンを押しても無人のまま放置してはいけません。

オペレーターとなる撮影を担当するひとは、画面が明るすぎる場合は画面の一番明るい部分を長押しして露出をその部分に合わせて固定し直しましょう。

暗転中に画面を長押しするとピントがぼけたり、露出もくるってしまいますのでご注意ください。